

活動報告

3年ぶりの開催『乳がん予防 春の街頭キャンペーン』

5月22日（日）、県内5か所で乳がん予防を呼びかけました。抜けるような青空のもと、がん予防推進員、がん患者会、市町・関係機関の皆様のご協力で、たくさんの方にがん予防の意識を高めることができました。ご参加いただきました皆様、ありがとうございました。



イオン唐津ショッピングセンター



ゆめタウン佐賀



武雄市図書館



フレスポ鳥栖



ゆめタウン武雄



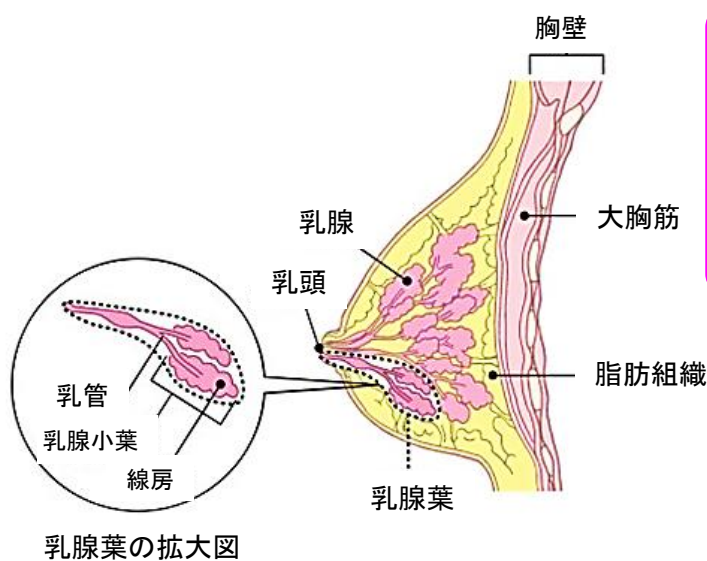
エレナ伊万里店

チェック！

乳がんは唯一、自分で見つけることができます！！

乳がんは、母乳をつくる乳腺の組織にできるがんで、多くは乳管から発生しますが、一部は乳腺小葉から発生します。男性にも乳頭、乳輪、乳腺があり乳がんを発生することがあります。男性も女性と同様に、多くは乳管からがんが発生します。

乳腺は、乳頭から放射状に張り巡らされている15～20の乳腺葉に分かれていて、乳管と乳腺小葉からできています。乳腺小葉は腺房という小さい組織が集まって形づくられています。



乳がん予防は、飲酒を控え、閉経後の肥満を避けるために、体重を管理し、適度な運動を行うことが良いと考えられています。

主な症状は、乳房のしこりです。ほかには、乳房にえくぼやただれができる、左右の乳房の形が非対称になる、乳頭から分泌物が出る、などがあります。乳房のしこりは、乳腺症など、乳がん以外の原因によっても発生することがあります。気になる症状がある場合は、早めに乳腺専門医を受診し、早期発見につなげましょう。

乳がんは自分で見つけることのできるがんです。

日頃から入浴や着替えのときなどに、自分の乳房を見たり触ったりして、セルフチェックしましょう。主なチェック項目は

- しこり（仰向けに寝て、乳房をさわって、しこりを調べる。）
- 乳頭からの分泌物（血が混じったような液）
- わきの下のリンパ節の腫れ
- 乳房の皮膚の異常（くぼみ・ただれ・変色・ひきつれなど）

ただし、セルフチェックでは見つけられないこともあるため、定期的に乳がん検診を受けることも重要です。

乳がん検診について。40歳以上の女性は2年に1回、乳がん検診を受けましょう。ほとんどの市町村では、検診費用の多くを公費で負担しており、一部の自己負担で検診を受けることができます。検診の内容は、マンモグラフィと問診です。問診では、自覚症状、月経や妊娠などに関する事項、既往歴、家族の病歴、過去の検診の受診状況などを確認します。検査の結果が「要精密検査（がんの疑いあり）」となった場合は、必ず精密検査を受けましょう。

出典元：国立がん研究センター『がん情報サービス』

ここ大事！！

「がん」は県内の死亡原因のトップ！

令和2年 2,689人もの方が、がん で亡くなりました。一方で、がんは早期発見・早期治療により9割以上の方が完治しています。しかしコロナ禍で、がん検診受診者は、約2割も減少しています！！そこで ～柔道家・古賀稔彦氏 家族からのメッセージ～



長男 古賀颯人さん

次男 古賀玄暉さん

長女 古賀ひよりさん

「がん検診は不要不急じゃない！！」

あとがき

新型コロナウイルスによる感染拡大防止のため一時休止していた『乳がん予防ピンクリボンキャンペーン』が3年ぶりに開催。日頃からお世話になっているがん予防推進員、がん患者会、市町・関係機関の皆さんとお会いできて嬉しかったです。普段は、電話やメールでのお付き合いですが、穏やかな笑顔と細やかな気配りに触れ、私自身も元気づけられました。ありがとうございました。ほんの一部ですが、裏面にその時の様子を掲載しております。

《さがんだより新聞の問合せ先》

佐賀県 健康福祉政策課 がん撲滅特別対策室 担当：小瀬
TEL：0952-25-7491 FAX：0952-25-7206
MAIL：kenkoufukushiseisaku@pref.saga.lg.jp



乳がん予防
ピンクリボン
キャンペーン
フォト
2022.5.22

